



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア / 日置雅夫・岩下茂子

地域の方々の願いと活動が実を結んだ 「一宮市木曾川文化会館尾西信金ホール」

「木曾川文化創造ワークショップ」は、合併前の木曾川町が木曾川文化会館建設に向けて招集した「木曾川文化会館住民ワークショップ」の思いを引き継ぐ形で、平成16年任意団体として発足し、今日まで14年間活動を続けています。現在の会員は52名です。

文化活動に取り組む木曾川町の住民が、その拠点としての文化会館建設を望んだことが活動の原点であり、同時に地域の文化発展のために様々な活動に取り組んできました。

近隣のいくつかのホールを見学研修し、市長や市の担当へ文化会館建設の早期実現と住民皆が使いやすいホールになるように要望や提案をし続けました。並行して、「きそがわふれあいコンサート」を主催し、多くの観客とともに音楽やパフォーマンスを楽しみながら文化の輪を広げてきました。

発足から12年、念願がかなって平成28年10月に木曾川文化会館がオープンしました。

オープン直後に、市民がつくる木曾川文化会館オープニング記念公演として、市民参加のミュージカル“うたと芝居でつづる山内一豊物語 風雲黒田城「行け!一豊」”を創り上げました。それを機に、団体名を木曾川文化創造ワークショップに変更しました。

木曾川公民館で始まった「きそがわふれあいコンサート」は、木曾川文化会館のホールに場所を移し、平成30年7月の柳家燕弥落語会まで計67回開催され、地域の住民が気軽に楽しめるコンサート(公演)として定着しました。

また、イオンモール木曾川を会場にした、ダンスや音楽などのコンサートも今年5月の開催で106回を数えます。

団体の代表である長谷川一貴氏にお聞きしました。

「私たちは、会員それぞれの力を積み重ね、地域の皆さんに支えられ、ここまで活動を続けてきました。最近では、地元団体の文化活動の技術スタッフのお手伝いとして参加することもあります。これからも、木曾川文化会館を拠点に、地域の皆さんとともに文化の薫り高い街づくりを目指して頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。」

同団体は、日頃からの活動を通して、地域の文化活動の向上に努めています。



会員皆が協力して「きそがわふれあいコンサート」を開催

名もなきグループの地元応援団

今年も夏真盛り夜空に響く太鼓の音!!

小信中島にある神社の境内で毎年恒例の盆踊り大会が開かれました。その会場の一番目立つやぐらにて、ボランティアで見事なバチさばきを披露している子どもたちを紹介したいと思います。

今から30年程前に地元でなにか役に立つ事がないかと思いたった3人ほどの少人数から始まりました。月日がたち、現在は小学校の中・高学年を中心に30名程度になりました。

驚くことに練習期間は非常に短く、2回程度とのこと。大人は基本を教えるのみで、技術的なものは先輩から次世代へ直接引き継がれていくそうです。初めての子であっても、ひと夏を経験することで、見違えるようになります。

この良き伝統を絶やさないためにもたくさんの方に参加していただきたいと思います。

